

☆くしろ市議会だより

お伝え
します

市議会
のこと

平成 26年8月1日

2014 8 AUG.

No.39

発行 釧路市議会
編集 議会広報特別委員会
釧路市黒金町7丁目5番地(議会事務局)

TEL 31-4581 FAX 23-7679

✉ メールアドレス
gi-gikai@city.kushiro.lg.jp

URL ホームページアドレス
http://www.city.kushiro.lg.jp/shigikai/index.html

(次回の9月定例会は、9月10日(水)午前10時
から開会の予定です。)

台湾との交流促進を図るため、道内初の議員連盟として釧路市議会日台友好促進議員連盟が本年発足。同連盟の設立を記念し、台北駐日経済文化代表処の陳桂宏札幌分処長が講演のため来朝。これに先立ち市議会を
表敬訪問し、友好の絆を深めました。(陳)夫妻を囲んでの記念撮影 6月19日)



議会日程

4/14 議会広報特別委員会

4月臨時会

4/22 提案説明
委員会審査・採決
委員長報告
本会議採決

6/5 議会運営委員会

6/6 石炭対策特別委員会

6月定例会(会期10日間)

6/11 市政報告
提案説明
質疑・一般質問

6/12・13 質疑・一般質問

6/16~19 常任委員会審査

6/19 議会広報特別委員会

6/20 常任委員会採決
委員長報告
本会議採決

6月定例会の概要

釧路市議会26年第3回6月定例会は、6月11日(水)から20日(金)までの日程で開催しました。

今定例会では、市長から提出された26年釧路市一般会計補正予算など19件の議案のほか、炭鉱技術海外移転事業の推進に関する意見書など6件の意見書を原案通り可決、専決処分報告4件を承認し、閉会しました。

本会議における一般質問は一問一答方式で行われ、国際定期便就航、図書館の移転問題、昭和北地区排水路整備、防災対策、人口減少問題などについて質問があり、地域課題から国政における諸課題に至るまで広く議論が交わされました。(2・3面参照)特に新図書館整備に関する議論など、市民に関心の高い議案には多くの傍聴者が訪れました。

議会報告会の日程決まる

6月19日(木)に行った議会広報特別委員会では、「市民にわかりやすい開かれた議会」を目指して実施する議会報告会のスケジュールや概要等を協議しました。

今年度の議会報告会は、10月20日(月)から24日(金)の日程で市内6会場、昼夜合わせ7回開催します。

10/20(月)	18:00~	桜ヶ岡中央会館
10/21(火)	18:00~	コアかがやき
10/22(水)	18:00~	コア鳥取
10/23(木)	18:00~ (2会場で開催します)	阿寒町公民館
		音別町コミュニティセンター
10/24(金)	13:30~	市議会 本会議場
	18:00~	(昼・夜2回開催します)

(文責:議会広報特別委員長 松橋尚文)

経済建設常任委員会による現場視察

6月18日(水)、経済建設常任委員会は、同月30日(月)から一部施設の供用を開始する緑ヶ岡公園を視察しました。同公園は、パークゴルフコースやバーベキュー炉、駐車場などの施設を備えており、新しい市民憩いの場や、高齢者の健康増進の場として活用が期待されています。

当初は園内全域を視察する予定でしたが、天候が悪かったため、委員はバーベキューコーナーがある休憩施設内で担当課から説明を受けました。



党派略称説明

自民ク 自民クラブ

自新ク 自由新政クラブ

市民連 市民連合議員団

市政ク 市政クラブ

公明 公明党議員団

政進会 政進会

共産党 日本共産党議員団

6月13日(金)

今定例会では、6月11日から3日間にわたり、15人の議員により質疑・一般質問を行いました。今回も質問者全員が一問一答方式を選択しました。その中から主な質問と答弁をお知らせします。

6月11日(水)



政進会
鶴間 秀典 議員

1

問 台湾の復興航空の定期便 釧路路線が本年5月末で一時 運行休止となったが、台湾の国 際線運航ルール上で言う「休 止」または「廃止」のどちらにな るのか。また、他の航空会社に よる就航は可能なのか。

答 復興航空からは、台湾の民 用航空局に対し「休止」として 申請しており、機材繰りなどの 条件が整えば、再開を検討した いとの説明があった。また、同 局からは、一部に制限を残すも の、他社の就航に関して、基 本的には可能であるとの回答 を受けている。



共産党
梅津 則行 議員

2

問 1300人の待機者がい る特別養護老人ホームの整備 については、第6期釧路市高 齢者保健福祉計画・介護保険事 業計画の策定に当たり、最重要 課題として位置付けるべきと 考えるが、見解を聞きたい。

答 待機者の状況や、高齢化の 一層の進展が見込まれる中、特 別養護老人ホームの整備は今 後も重要であると認識してい る。整備数に関しては、同計画 の策定市民委員会での議論を 踏まえ、給付と負担のバランス や社会福祉法人等の意向など も勘案し検討していきたい。



自民党
三木 均 議員

3

問 新図書館の整備に 関して市が示す民間ビルへの間借り 案は、国の補助事業の活用や賃 貸入居による財政的負担の軽 減、中心街活性化などが強調さ れているが、他の案に比べた優 位性が示されていない。再度、費 用や優位性を比較検討し、合理 的な根拠を示すべきでないか。

答 現図書館は耐震基準を満 たしておらず、安全確保を図る ため国の交付金等活用の可能 性がある複合施設とする判断 をした。耐震改修や新設整備に 係る費用は算出していないが、 公共施設の耐震改修や他都市 の事例を参考に検討している。



市民連
松尾 和仁 議員

4

問 高齢者が生きがいを持っ て暮らすには、老人クラブの果 たす役割は多く、会員数の減少 に歯止めをかける対策が急務 となっている。どのように取り 組むのか。

答 老人クラブ会員数の減少 は、60歳以上でも現役で働き続 ける人の増加や、老後の過ごし 方の多様化が原因として考え られる。市老人クラブ連合会 で は、連合町内会とも連携し、加 入率向上に向けた取り組みを 進めており、市としても市老連 と協力しながら会員減少の対 策に努めていく。



公明
秋田 慎一 議員

5

問 自然災害が発生した場合 の応急対応や復旧・復興のた め、防災まちづくり拠点施設の 建設に合わせ、被災者支援シ ステムの導入を検討すべきと考 えるが見解を聞きたい。

答 同システムは、大規模災害 時において、被災者のデータを 二元的に管理し、支援業務を円 滑に実施できる利点があると 認識している。市としては、導 入への課題把握や他自治体の 導入状況などの情報収集に努 め、当市の実情に合ったシステ ムを研究していきたい。

用語解説

- ※1 第6期釧路市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画
高齢者福祉施策と介護保険制度を総合的に実施するために市が取り組むべき施策をまとめる次期計画。(平成27~29年の3カ年計画)
- ※2 被災者支援システム
大規模災害時に市町村が行う、り災証明書の発行、義援金の給付、生活支援金の貸付管理などの被災者支援を円滑に実施するために西宮市が開発したシステム。
- ※3 ボックスカルバート
道路下に埋設し、主に下水及び排水用管路として使用される箱型の構造物のこと。

6月12日(木)



自民党
森 豊 議員

6

問 昨年、国からの地方公務員 給与削減要求に対して、市では 新たな削減はせず、超過勤務手 当や旅費、臨時職員経費などの 内部管理経費でまかなう約束 であったが、結果はどうなった のか聞きたい。

答 25年度の決算見込では、職 員の超過勤務手当や臨時職員 の賃金、出張旅費に加え、年度 途中の退職者の欠員分を職員 の配置により対応するなど人 件費の抑制が図られたため、市 民サービスの低下を招くこと なく目標額を達成できたこと を考えている。



市政党
金安 潤子 議員

7

問 北海道子ども読書活動 推進計画(第三次計画)では、29 年度には道内の全市町村で子 ども読書活動推進計画を策定 することを目標としており、管 内の町村でも計画の策定が進 められている。市における今後 の策定予定を聞きたい。

答 市では、これまで図書館基 本計画などを踏まえ、学校、幼 稚園等と連携し、子どもの読書 活動推進を図ってきた。今後、 総合的かつ計画的な活動推進 のため、今年度予定している図 書館基本計画の見直しを踏ま え、来年度に推進計画を策定し たいと考えている。

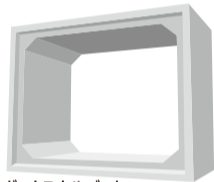


共産党
村上 和繁 議員

8

問 昭和北の排水路について は、将来的にボックスカルバ ートなどを設置して、管を地下に 埋設し暗きよとするよう求め るが、見解を聞きたい。

答 今後、雨水管の整備が図ら れることによって、排水路の必 要性がなくなると考えている。 この排水路には、個人で架けた 橋の撤去や接続する排水管の 処理などの課題もあることか ら、整備の完了 に併せて住民説 明会を行い、理 解を得た上で、 埋め戻しを行っ ていきたい。



ボックスカルバート



自民党
山口 光信 議員

9

問 アセツリ川は道からの 委託で南側を市が管理してい るが、満潮になると釧路川の水 が逆流する危険な場所。東日 本大震災の時にも被害があっ た。地域住民の不安が一日も早 く解消するよう、津波対策をさ らに道へ要望していくべきで ないか。

答 道からは、釧路川とこれに 流入するアセツリ川などの 支川を含めて、一体となった対 策の検討が必要であるため時 間を要していると聞いている。 今後どのような作業手順にな るかを含め、道に対し引き続き 要請していきたい。



市民連
宮田 団 議員

10

問 市は、釧路市核兵器廃絶平 和都市宣言を行い、平和行政に 取り組んでいる。このため、宣 言だけにとどまらず、平和憲法 や非核三原則、同宣言の理念に 基づき、非核平和条例を制定す べきと考えるが、見解を聞きた い。

答 新市の誕生に伴い、平成18 年8月15日に同宣言を制定し、 平和都市推進委員会と連携を 図りながらさまざまな平和事 業に取り組んできている。今後 も宣言の趣旨に基づいた事業 を継続していくことが、平和行 政の推進につながるものと認 識している。



自新党
戸田 悟 議員

11

問 国際バルク戦略港湾の早 期整備の要望を発現させるた め、関連施設の早期整備の実施 に当たり、具申を持って大手企 業をはじめ道内企業、地元企 業を挙げて整備に取り組 めるよう、市から要望を明確に 行うべきでないか。

答 本事業の整備に当たって は、大手企業だけでなく道内企 業や地元企業への受注機会の 拡大を図ることが、地元企業の 雇用機会の創出や技術の向上、 地域経済の活性化、産業界の強 化等に重要であり、今後も国に 対し機会あるごとにこの考え 方を要望してまいりたい。

委員会審査 3常任委・1特別委

今定例会では、3常任委員会と石炭対策特別委員会の審査を行いました。
その中から、主な審査内容をお知らせします。

市長は、「新図書館整備の財源を比較検討するには、今後、市が実施すべき他の事業や利用できる補助金などを総合的に考える必要がある。貸貸入居する案の事業費や財源等については、新図書館整備市民検討委員会でも議論を進めていくが、9月定例会前には判断できる資料を議会に提示したい。また、議会に提出した資料は、市民にも示したい。」と答えました。

総務文教常任委員会

菅野 猛委員長

「新図書館整備の財源問題に関し、国から補助金を受け、民間ビルにテナントとして30年間賃貸入居する案や、過疎債などを活用して単独で整備する案など、どの案が市民負担の軽減になるのか、具体的な数字に基づく根拠を議会に示すべきでないか。また、議会に示された資料は、市民にも示すべきでないか。」との質問がありました。

経済建設常任委員会

畑中 優周委員長

「国における6月13日の規制改革に関する第2次答申の中では、農業委員会の公選制について、より実務的に機能する者を選任することができるよう、現在の選挙制度と農業団体等からの推薦制度を廃止し、市町村長による選任に一元化するとの提言がされているが、公共的業務を担う農業委員会の制度を守るため、公選制を維持すべきでないか。市長の見解を聞きたい。」との質問がありました。

民生福祉常任委員会

秋田 慎一委員長

「全国的に居住実態が把握できない児童のことが大きな話題となっているが、これに対し市はどのような取り組みを行っているのか。また、厚生労働省から依頼があった調査について、内容やスケジュールはどのようになっているのか。」との質問がありました。

石炭対策特別委員会

土岐 政人委員長

「産炭国石炭採掘・保安技術高度化事業に関し、27年度以降の継続に向け、今後どのような行動をしていくのか。」との質問がありました。

本会議 質疑・一般質問

6月11日(水)～

6月13日(金)



共産党
石川 明美 議員

12

問 ※4 難病の患者に対する医療費等に関する法律が成立し、対象となる疾患が大幅に広がったが、これまで自己負担のなかった重症患者も一定の負担を求められることが問題になっている。市として支援策をとるべきでないか。

答 難病患者への医療費等の助成については、国において負担の在り方も含め、公平で安定的な制度を確立する観点などからこのたびの法制化となり、対象疾患を拡大したものと理解している。



自民党
菅野 猛 議員

13

問 基幹産業である農林部門を所管する市農林課の体制について、地域の農林業発展のために釧路・根室両管内の取りまとめ役を担うという視点に立ち、阿寒町行政センターから本庁に集約すべきでないか。

答 本庁に同部門の機能がないうことで、施策形成に支障が生じたり、関係機関との折衝で移動に時間を要するなど、業務の非効率が生じている。同課の体制については、それぞれの地区が担う機能を勘案しながら、本庁に集約する可能性を検討していく。



市民連
渡辺 慶藏 議員

14

問 日本創成会議の試算によると、2040年における釧路市の20～30代女性の人口が現在より59.5%減少するとのことだが、今後どのような対策が必要なのか。特に子ども・子育て支援策の抜本的見直しが必要でないか。

答 将来の人口予測を踏まえ、今後は子育て支援などの少子化対策や雇用の確保、交流人口の拡大等、さまざまな施策を複合的に講じていきたい。子ども・子育て支援策については、釧路市子ども・子育て支援事業計画を策定する中で検討していく。



自民党
草島 守之 議員

15

問 阿寒湖の世界自然遺産登録を目指した取り組みを開始してから2年が経過したが、市民の盛り上がりにかけていると感じる。登録の必要性はどこまで広がり、市民はどこまで機運の高まりを実感しているのか示してほしい。

答 昨年8月に開催した世界遺産シンポジウムには、多くの市民が参加し理解が深まった。また、市民団体等でのマリモによる地域活性化の取り組みや、報道機関のさまざまな企画を通じ機運の醸成も図られており、市民の理解や関心も高いと感じている。

「林活議連」定期総会を開催

釧路市議会森林・林業・林産業活性化推進議員連盟(略称「林活議連」)の定期総会を6月20日(金)、本会議場で開催しました。

総会では25年度事業報告・決算報告、26年度活動計画案・予算案などを全て承認しました。



用語解説

- ※4 難病の患者に対する医療費等に関する法律
平成26年5月23日に成立。難病患者に対する医療費助成制度を法定化したもの。助成を受けられる対象疾患を大幅に広げる一方、重症患者にも一定の負担を求め、公平かつ安定的な医療費制度を確立することになった。
- ※5 日本創成会議
平成23年5月に発足した有識者らによる政策発信組織のこと。本年5月に同会議の人口減少問題検討分科会が、2040年には若年女性の流出のため全国で896の市区町村が人口減少による消滅の可能性があるとして発表した。

平成26年 第2回 4月臨時会審議結果

◎ 全会一致で可決(承認)となったもの (4件)

市長提出議案			
予算	平成26年度一般会計補正予算	契約	工事請負契約の締結に関する件
条例	国民健康保険条例の一部を改正する条例	専決処分	平成26年度一般会計補正予算

平成26年 第3回 6月定例会審議結果

◎ 全会一致で可決(承認)となったもの (26件)

市長提出議案				
予算	平成26年度一般会計補正予算	その他	火災予防条例の一部を改正する条例	
	平成26年度農業用簡易水道事業特別会計補正予算		過疎地域自立促進市町村計画の変更に関する件	
	平成26年度動物園事業特別会計補正予算		辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定に関する件	
	平成26年度病院事業会計補正予算		和解成立の件	
	平成26年度水道事業会計補正予算		財産取得の件	
	平成26年度工業用水道事業会計補正予算		契約	工事請負契約の締結に関する件
	平成26年度下水道事業会計補正予算		専決処分	平成25年度一般会計補正予算
職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	平成26年度一般会計補正予算			
企業立地促進条例の一部を改正する条例	税条例及び都市計画税条例の一部を改正する条例			
公営企業の設置等に関する条例の一部を改正する条例	負傷及び物損事故損害賠償額の決定等			
消防団員退職報償金支給条例の一部を改正する条例				
議員提出議案				
意見書	中小企業の事業環境の改善を求める意見書(提出先:内閣総理大臣ほか3大臣)			
	総合的、体系的若者雇用対策を求める意見書(提出先:内閣総理大臣ほか2大臣)			
	炭鉱技術海外移転事業の推進に関する意見書(提出先:衆・参議院議長、内閣総理大臣ほか2大臣)			
	規制改革会議意見書の取扱いに関する意見書(提出先:内閣総理大臣、農林水産大臣)			
	毅然とした姿勢でTPP協定交渉に臨むことを求める意見書(提出先:衆・参議院議長、内閣総理大臣ほか4大臣、内閣官房長官)			

◎ 賛否が分かれたもの (4件)

○賛成 ×反対

市長提出議案										
件名	会派名[()内は議員数]※	自民ク(6)	市民連(6)	公明(4)	共産党(3)	自新ク(3)	市政ク(3)	政進会(2)	審議結果	
条例	税条例等の一部を改正する条例	○	○	○	×	○	○	○	可決	
その他	釧路港港湾区域内公有水面埋立ての件	○	○	○	×	○	○	○	可決	
議員提出議案										
件名	会派名[()内は議員数]※	自民ク(6)	市民連(6)	公明(4)	共産党(3)	自新ク(3)	市政ク(3)	政進会(2)	審議結果	
意見書	地方財政の充実・強化を求める意見書(提出先:内閣総理大臣ほか4大臣、内閣官房長官)	○	○	○	×	○	○	○	可決	
	憲法解釈変更による「集団的自衛権の行使容認」に反対する意見書	×	○	×	○	×	×	×	否決	

◎ 請願・陳情 (1件)

(1) 継続審査となったもの

陳情	件名	提出年月日	付託委員会
陳情	公契約法の制定を求める意見書の件	平成24年3月7日	総務文教常任委員会

※ 自民クの議員数は7人ですが、黒木議長が採決に加わっていないため6人としています。

市議会を傍聴しませんか?

市議会では、より多くの市民が傍聴にお越しくださいますようお願いしております。本会議は自由に傍聴できますので、開催日程などについては、お気軽に議会事務局へお問い合わせください。(TEL31-4581、FAX23-7679)

本会議のインターネット中継をご利用ください。

議会情報を速やかに伝えるため、本会議のインターネット中継を行っています。次回の本会議は9月10日(水)から始まる予定です。市議会ホームページからリアルタイムで会議をご覧いただくことができますので、ぜひご覧ください。

◆ 議員在職20年以上
草島守之 議員
酒巻勝美 議員
佐藤秋 議員
渡辺慶藏 議員
村上和繁 議員

◆ 議員在職10年以上
◆ 議員在職20年以上
◆ 議員在職10年以上

永年在職議員表彰

政務活動費について
公開します

政務活動費は、議員の政策形成能力や審議機能を強化するため、調査研究その他の活動に必要な経費の一部として、会派に対して交付されます。(1人月額4万円)
市議会では、25年度交付分の政務活動費に係る収支報告書と出張報告書を、市議会ホームページと市役所1階の市政情報コーナーで公開していますので、ご覧ください。

会派名	交付額(円)	実績額(円)	返還額(円)	執行率(%)
自民クラブ(7)	3,360,000	2,968,149	391,851	88.34
市民連合議員団(6)	2,880,000	2,875,987	4,013	99.86
公明党議員団(4)	1,920,000	1,827,833	92,167	95.20
日本共産党議員団(3)	1,440,000	1,039,982	400,018	72.22
自由新政クラブ(3)	1,440,000	1,209,680	230,320	84.01
市政クラブ(3)	1,440,000	1,150,482	289,518	79.89
政進会(2)	960,000	873,750	86,250	91.02
合計	13,440,000	11,945,863	1,494,137	88.88

※()内は会派議員数。